

御前山シリーズ第2弾  
斧窪御前山

実施日 2016年5月8日(日)  
 天候 晴  
 リーダー 一柳 昭  
 S L 石原 勝正  
 参加者 若村貴世子、齋恵美子、若村勝昭、服部美千代、一柳昭、涌井良明、安田三恵子、小村井好江、石附智江、石原勝正、関塚七海、石附恵理子、白石佐恵、渡邊悦子 計14名  
 費用 JR820円(高尾起算) 820円  
 タイム 梁川駅(10:40~10:57)登山口(11:17~11:20)鳥居と祠(11:36~11:42)斧窪御前山(12:00~12:40)分岐(13:05~13:09)494mピーク(13:14)遠山(13:45)鳥沢駅(14:06~14:22)

中央線の四方津駅、梁川駅周辺には綱之上御前山、斧窪御前山、四方津御前山、鶴島御前山、枋穴御前山の5つの御前山があります。この一帯は戦国時代には「のろし台」として使われた低山でそれぞれの集落のあった地名をつけて〇〇御前山としています。今回は御前山シリーズ第2弾として斧窪御前山を歩きました。



梁川駅から中央線沿いに斧窪地区へ歩き線路の下を左に行くとなつ目の標識があるが字は消えている。

しばらく線路沿いに進み途中から右斜めに入ると標識のある登山口に着く。ここからつづら折り



に登っていくと鳥居と祠がある。その先もそここの傾斜があるが約40分ほどで三等三角点のある斧窪御前山にさらっと登れた。現在は樹



木が伸びて以前ほどの展望は無い。また、TVアンテナが設置されており邪魔ものが多い。午後は反対側に降りるがマイナーな山なので細い踏み跡があるが倒木、藪が多いので



慎重に降りる。尾根をしばらく行くと東京電力の鉄塔巡視路の分岐に出る。北側に進めば藪の多いマニアックな難コースで経験者向きなので今回はパスして西側



の良く整備された尾根道を進み494mピークを経て遠山地区へ降る。遠山集落を通り国道20号線を鳥沢駅まで歩き解散した。

斧窪御前山はマイナーな山で他の人が来ないのでのんびりできました。

今後、御前山シリーズとして他の御前山も計画しますのでご期待下さい。

(記・一柳昭)

(写真提供・涌井良明、石原勝正)

